



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 日本輸送機株式会社(ニチユ)
コード番号 7105 URL <http://www.nichiyunet.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 二ノ宮 秀明
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 伊藤 喜久夫

TEL 075-951-7171

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,522	1.6	386	△43.0	442	△40.9	109	△77.9
24年3月期第1四半期	19,204	20.4	679	788.2	748	521.6	498	64.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △218百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 480百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第1四半期	2.34	—
24年3月期第1四半期	10.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第1四半期	61,788	16,315	27.1	356.93
24年3月期	63,287	16,816	27.0	364.93

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 16,741百万円 24年3月期 17,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	—	—	6.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年8月3日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	41,100	2.3	700	△30.5	800	△21.1	330	△50.8	7.03
通期	83,800	2.2	2,100	17.1	2,300	15.5	1,300	49.6	27.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年8月3日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	46,977,832 株	24年3月期	46,977,832 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	72,123 株	24年3月期	72,123 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	46,905,709 株	24年3月期1Q	46,907,435 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金による個人消費への刺激策等に支えられ内需を中心に緩やかな回復が続きました。こうした環境の中で、フォークリフトの国内需要は堅調に推移していますが、昨年後半の勢いからはややスローダウンしてきています。また、海外の主力市場である中国・アジアにおいては、欧州経済停滞の影響等で中国は需要が前年をやや下回るレベルに落ち込んでいましたが、東南アジアは堅調で、フォークリフト需要も依然として拡大傾向が続いています。

このような状況下、当社グループは国内ではフォークリフト・物流機器における幅広い品揃えや全国に展開する販売網という強味を活かし、お客様の様々なニーズに応えることで売上の拡大を図り、海外では主力の中国で販売網整備やサービス工場の拡充を図るとともに、東南アジアではタイの復興需要取り込み等に注力しました。しかし、物流システム事業が当期間中の売上計上案件が少なく売上が減少したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.6%増の195億2千2百万円に止まりました。

利益面では、原材料費の低減や改善努力によるコスト低減等がありましたが、フォークリフトの市場価格の落ち込みの影響の他、人件費、試験研究費の増加等があり、営業利益は前年同期比43.0%減の3億8千6百万円、経常利益は同40.9%減の4億4千2百万円、また、四半期純利益は補助金収入の減少等により同77.9%減の1億9百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

〔国内フォークリフト事業〕

国内フォークリフト事業部門は、堅調な需要の取り込みによる新車の拡販、サービス等の着実な売上増に努めました。その結果、当部門の売上高は前年同期比8.4%増の144億1千9百万円となりました。

利益面では、市場価格の落ち込みの影響が大きく、営業利益は同14.8%減の10億7千万円となりました。

〔海外事業〕

中国市場に陰りが見えるものの、東南アジア市場は堅調に推移し売上拡大傾向も続いていること等により、売上高は前年同期比9.0%増の26億3千1百万円、営業利益は同28.4%増の7千4百万円となりました。

〔物流システム事業〕

物流システム事業部門は、震災復興需要もあり受注は増えつつありますが当期間において引渡しとなる大口案件が少なく、当部門の売上高は前年同期比26.2%減の19億2千7百万円となりました。利益面では売上の減少の影響をコスト削減努力でカバーした結果、営業損失は1億4千5百万円（前年同期は1億5千6百万円の営業損失）となりました。

〔その他事業〕

巻取機は当期間において引き渡しとなる案件が少なく、売上高は前年同期比38.2%減の5億4千3百万円、営業利益は同49.5%減の3千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は617億8千8百万円となり前連結会計年度末より14億9千9百万円減少しました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少等により15億4千2百万円減少し、固定資産は、機械装置及び運搬具等の増加等により4千3百万円増加しました。

負債合計は454億7千2百万円となり、前連結会計年度末より9億9千9百万円減少しました。主な要因は、その他に含まれている未払金の増加等はありませんでしたが、短期借入金および賞与引当金等の減少によるものであります。また、純資産につきましては163億1千5百万円となり、前連結会計年度末より5億円減少しました。主に四半期純利益1億9百万円の計上、配当金の支払2億8千1万円およびその他有価証券評価差額金2億9千4百万円の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を変更しております。また、配当につきましては、未定としておりました当期の期末配当金を1株当たり7円といたしました。詳細につきましては、本日（平成24年8月3日）別途開示いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（追加情報）

（役員退職慰労金制度の廃止）

当社は、平成24年6月28日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打ち切り支給が承認可決されましたので、同制度を株主総会終結の時をもって廃止しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、当社の取締役及び監査役に対する役員退職慰労金の確定支給相当額169百万円を、役員退職慰労引当金から固定負債その他に振替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,817	3,519
受取手形及び売掛金	21,134	19,484
商品及び製品	3,435	3,438
仕掛品	1,876	2,323
原材料及び貯蔵品	365	321
その他	3,547	3,541
貸倒引当金	△148	△144
流動資産合計	34,028	32,485
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,248	6,152
機械装置及び運搬具（純額）	8,713	8,917
土地	4,681	4,672
その他（純額）	964	1,171
有形固定資産合計	20,608	20,914
無形固定資産	328	341
投資その他の資産		
投資有価証券	4,427	3,981
その他	4,148	4,321
貸倒引当金	△253	△256
投資その他の資産合計	8,322	8,046
固定資産合計	29,259	29,303
資産合計	63,287	61,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,362	19,881
短期借入金	7,215	6,179
未払法人税等	811	566
賞与引当金	1,769	895
役員賞与引当金	80	36
その他	3,468	4,992
流動負債合計	33,708	32,552
固定負債		
長期借入金	3,916	4,038
退職給付引当金	8,422	8,457
役員退職慰労引当金	175	7
その他	248	416
固定負債合計	12,763	12,920
負債合計	46,471	45,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,890	4,890
資本剰余金	3,299	3,299
利益剰余金	8,666	8,495
自己株式	△31	△31
株主資本合計	16,824	16,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	632	338
為替換算調整勘定	△339	△249
その他の包括利益累計額合計	292	88
少数株主持分	△301	△426
純資産合計	16,816	16,315
負債純資産合計	63,287	61,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	19,204	19,522
売上原価	14,705	15,126
売上総利益	4,498	4,395
販売費及び一般管理費	3,819	4,008
営業利益	679	386
営業外収益		
受取利息	9	7
受取配当金	36	37
持分法による投資利益	14	41
その他	75	56
営業外収益合計	137	142
営業外費用		
支払利息	30	27
為替差損	8	20
その他	28	38
営業外費用合計	67	87
経常利益	748	442
特別利益		
補助金収入	110	—
特別利益合計	110	—
特別損失		
固定資産処分損	12	29
投資有価証券評価損	—	35
特別損失合計	12	65
税金等調整前四半期純利益	846	377
法人税、住民税及び事業税	657	523
法人税等調整額	△267	△116
法人税等合計	389	406
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	457	△29
少数株主損失(△)	△41	△139
四半期純利益	498	109

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	457	△29
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△298
為替換算調整勘定	52	107
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	23	△189
四半期包括利益	480	△218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	516	△94
少数株主に係る四半期包括利益	△36	△124

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内フォーク リフト事業 (百万円)	海外事業 (百万円)	物流シス テム事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,297	2,414	2,610	880	19,204	—	19,204
(2) セグメント間の内部売上 高または振替高	—	13	—	—	13	(13)	—
計	13,297	2,428	2,610	880	19,218	(13)	19,204
セグメント利益又は損失 (△)	1,255	57	△156	68	1,225	(546)	679

(注) セグメント利益又は損失 (△) の調整額546百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費の全社費用であります。

II. 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内フォーク リフト事業 (百万円)	海外事業 (百万円)	物流シス テム事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	14,419	2,631	1,927	543	19,522	—	19,522
(2) セグメント間の内部売上 高または振替高	—	11	—	—	11	(11)	—
計	14,419	2,642	1,927	543	19,533	(11)	19,522
セグメント利益又は損失 (△)	1,070	74	△145	34	1,033	(646)	386

(注) セグメント利益又は損失 (△) の調整額646百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費の全社費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。